

# 長 生

平成27年 10 月 号

## 目 次

会長の言葉	日本長生医学会会長 柴田政宏	
宗 教 編		
法 話	得勝寺 本 荘 一 治	1
長生医学の原点に立ち返る		3
医 学 編		
生き物の名前考	長生学園 リハビリテーション医学 非常勤講師 松 山 陽太郎	6
随 想 編		
不思議な出会い	神奈川県 西 田 明 生	8
工夫次第で花開く	鹿児島県 酒瀬川 洋	12
日常生活と長生医学	神奈川県 高 勢 佳 克	13
医学会・花祭りにて	東京都 山 下 隼 人	14
臨床の現場に立つようになって	神奈川県 榊 田 和 宏	15
不思議なご縁	長生学園 60期生 田 中 誠	16
長生知恵袋		17
案 内		
第90回 医学会・報恩講		20
計 報		21
学 園 便 り		22

日 本 長 生 医 学 会

## 会長の言葉

総本山長生寺管長 柴田政宏  
日本長生医学会会長

秋の便りも身近に感じられる季節になって参りました。

近年は地球温暖化の影響が例年とは違う様相を示しており、地球規模の自然災害が発生しております。自然災害はいつ何時我が身に降りかかるか、予想だに出来ない事柄ですので、常にどう身を守るべきか心掛けておかねばならないようです。

先日、ある先生のご尽力により、世界文化遺産に認定された、天台宗比叡山延暦寺の千日回峰行をなされた阿闍梨様に、身近にお会いする幸運に恵まれました。阿闍梨になるためには、比叡山の山々を足掛7年の月日を掛けて満行を迎えられ、生身の不動明王に成ると言われております。

比叡山と言えば法然上人、親鸞聖人が修業なされたところです。特に親鸞聖人は、9歳の時より29歳になるまでの20年間、天台宗の堂僧として修業されたところでもあります。

千日回峰行とは、一年目から三年間は一日30キロを百日間、四年目、五年目は、一日30キロを二百日、七百日を迎えると、9日間、断食、断水、不眠、の堂入りを行い、六年目は一日60キロを百日間、7年目は初めの百日間は京都大回り84キロ、最後の百日間は比叡山30キロを巡られます。

この難行苦行のなか、目的を見失う事なく阿闍梨になられたそのお姿からは、慈悲深さがオーラの様に輝いておられ、仏様の慈悲の賜物であると感じました。

私共は、親鸞聖人が説かれた他力の教え「南無阿弥陀仏」の世界に生かさせていただいております。改めて『自分自身が未熟な凡夫で有る事を自覚すると共に、毎日霊肉救済に精進させて頂きながら、仏様に生かされている我が身で有る』と痛感させて頂く事ができました。

『長生上人の精神を伝承した我々は、  
報恩感謝の精神の下、日々霊肉救済』

合掌